

1 学期始業式 校長講話

みなさんおはようございます。

本日から新しい学年がスタートします。

新しい教室、新しいHR、新しい先生、新しい教科書、たくさんの新しいものにお囲まれて、平成29年度が始まります。今、皆さんは、希望に満ちて始業式を迎えていることと思います。

さて、1学期の始業式にあたり、皆さんに校長として希望することをお話したいと思います。皆さんに今年度、力を入れて実行して欲しいことは『凡事徹底』です。

みなさんはこの『凡事徹底』ということばを聞いたことがありますか？

平成25年夏の甲子園で初出場で初優勝した前橋育英高校のナインの帽子の裏には、野球部のスローガンとして『凡事徹底』の文字が書かれているそうです。

凡事とは平凡なこと。徹底とは、日々継続して行うことです。つまり、「当たり前のことを当たり前に行う。それを日々継続して一生懸命行う。」という意味です。

この言葉を体現し続けているのがメジャーリーガーの『イチロー選手』です。彼は「今までに、これだけはやったな、と言える練習はどんな練習ですか？」という質問に、「僕は高校生活の3年間、1日にたった10分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その10分の素振りを1年365日、3年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」と答えています。1日なら誰にでもできることを徹底して毎日やり続けた結果、世界でも一流の選手を生んだのです。まさに、『継続は力なり』です。野球選手にとって素振りは基本中の基本ですが、たかが10分と言われることを1年365日やり続ける選手はほとんどいないでしょう。

さて、皆さん高校生にとって「凡事」とは何なのでしょう？それは、生活の基本、良い習慣を継続して行うことだと思います。

『時を守る（時間を守り、遅刻をしない）』『場を清める（教室の清掃を徹底し、学習環境を整える）』『礼を正す（あいさつをする。きちんとした学習態度で授業に取り組む）』など、皆さんの身近に「当たり前」とされることはたくさんあります。

これらを丁寧に一生懸命やれば、必ず周りの人から認められ信頼される人間に成長し、自らの夢や目標も達成できることでしょう。

そして、そういう一人一人の行動が久米島高校をさらにすばらしい学校に導いてくれると思います。

さて、3年生の皆さん。この1年間は、学校行事も、部活動もすべて最後の年です。そして、何よりも自分の進路を決める年です。何ごとにも全力で頑張りたいと思います。卒業して振り返った時、久米島高校での三年間は充実したものだったと思えるように、決して悔いを残さないように全力で頑張ってください。

そして、自分の力で目指す進路をつかみ取ってください。

2年生の皆さん。高校時代で1番いろいろなことに取り組めるのは2年生です。今年の久米高祭を含め様々な学校行事においても皆さんが3年生の先輩方をしっかりと支えて下さい。

2年生の時に、如何に努力するかは、3年生での進路決定に大きく影響してきます。

努力を惜しまず、何ごとにも挑戦することを2年生には、期待したいと思います。

いずれの学年にも言えますが、この1学期をどのように過ごすかで1年後の結果が大きく違ってきます。4月から今から全力で目標に向かって頑張ってください。

今日の午後には、入学式があり1年生が入学してきます。ここにいる2年生、3年生が頑張れば、1年生もついてきます。

2年生、3年生の皆さんの先輩としての頑張りを期待するとともに、1年間、充実した学校生活を送ることを希望しています。